

患者さん中心の医療とは

TOPICS

「根拠（エビデンス）に基づく医療」（英語ではevidence-based medicine、略してEBM）という言葉をよく耳にするとおもう。EBMとは、最近までの研究から得られたデータの中から信頼できるものを見つけ、それに基づいて理に適った診療を行うことです。

ただ最近では、単に研究結果やデータだけを頼りにするものではなく、「最善の根拠」と「医療者の経験」、そして「患者の価値観」を統合して、患者さんにとってより良い医療を目指そうとするものと解釈され、厚生労働省もホームページに示しています。がん治療などは、多くのデータから得られた治療、ガイドラインなどに示された標準治療を受けることが重要です。

医師から示された治療法が病状に合った標準治療で

あることを確認する必要があります。しかし、標準医療からはずれた治療法が「あたり」治療になる患者さんもおられるのは事実です。EBMはあくまで、患者さんを群として捉えてデータを出していますから、一人一人の患者さんには、その方に合ったオーダーメイドの治療が必要なこともあります。実際には、治療に掛かる費用、副作用、利用できる時間や労力なども治療法を選ぶ際の大事な基準になるとおもう。情報として得られる「根拠」だけでなく、自分自身が抱える状況をよく見つめながら、意思決定するように意識しましょう。

院長 河野 昌史

参考文献：

厚生労働省 「統合医療」に係るホームページ
弘世貴久 糖尿病薬物治療の裏ワザ、豆知識 2020、南江堂

令和4年度 がん検診の受付が始まりました

今年度からとうめい厚木クリニックでは、すべての種類の厚木市がん検診（胃、大腸、肺、前立腺、乳腺、子宮）が施行できるようになりました。6月下旬には、対象の方すべての方に市から受診券が郵送されてきます。70歳以

上では全種類のがん検診が無料です。また、伊勢原市の乳がん、子宮がん検診が当院で施行できます（受診希望の方は、伊勢原市保健福祉部に電話で受診券を申請してください）。



肺がん検診について

肺がん検診では胸部X線や、自治体によって低線量CT、また重喫煙者に対し喀痰検査を行い、負担の少ない検査で早期診断につなげ肺がん死亡率を減らす事が期待されています。検診結果は『精検不要』か『要精検』に分かれ、『要精検』となった場合は速やかに二次検査を受ける事が必要です。

肺がん全体の5年生存率は約35%で治療成績良好とは言えません。肺がん検診の受診率は50%前後です。喫煙者でないからと安心せずにより多くの方が受けて頂ければとおもう。また、当クリニックで診断から治療まで標準治療は全て可能ですので安心して受診頂ければと存じます。 呼吸器外科 竹内 真吾

乳がん検診のご案内

乳がんは女性のがんで最も罹患者数の多いがんであり、40歳代～60歳代の比較的若い女性にも発症するという特徴があります。そのため乳がん検診がきわめて重要になります。検診を受けることでがんの早期発見、早期治療による救命の効果が証明されています。

当院では厚木市、伊勢原市、愛川町、清川村の自治体乳がん検診を受けることができます。厚木市の場合、対象は40歳以上の女性で前年度乳がん検診未受診者となります。検査は女性技師によるマンモグラフィのみによる検診となります。結果は郵送にてお知らせすることになっていますが、がんが疑わしい病変がある場合は早めに連絡し、外来受診をおすすめさせていただく場合がございます。

乳腺外科 鎌田 順道

子宮がん検診について

子宮下部の入り口側を子宮頸部、上部を子宮体部と呼びます。通常、「子宮がん検診」とは、子宮頸部にできる子宮頸がんに対する検診です。子宮頸がん検診を受けることで、子宮頸がんの死亡率を減少されることが科学的に証明されています。

子宮頸がん検診の対象となるのは、20歳以上の女性です。子宮頸部をブラシで擦って細胞を採取し、異常な細胞の有無を顕微鏡で調べる（細胞診）検査です。

子宮体がんの好発年齢は50～60歳で、子宮頸がんに比べ高齢で生じる傾向にあります。閉経後の女性で不正出血を認める場合、相談のうえ、子宮頸がん検診と併せて子宮体がん検診を行います。

婦人科 加藤 一喜



とうめい厚木クリニック

〒243-0034厚木市船子237

TEL.046-229-3377 FAX.046-229-1935

<https://www.tomei.or.jp/clinic/>

予約・お問合せ電話番号

☎ 046-229-1950

